



積立投資信託



投資信託とは、お客様から集めた資金を1つにまとめ、投資の運用会社が複数の株式や債券などに投資し、その成果をお客様に分配する金融商品です。

◎積立投資信託の3つの特徴

①毎月指定された日に投資信託を自動的に購入できます。

毎月決まった日に自動的に投資信託を購入するため、毎月のご購入に際してのお手続きは不要です。

②毎月一定額で定期的に投資信託を購入することができます。

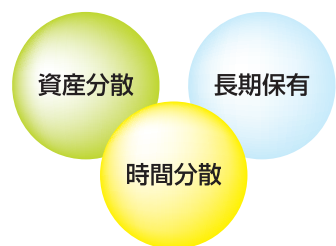
積立投資信託は預金口座からの振替により、無理なく毎月一定額を継続して購入できます。

③ドル・コスト平均法を活用した時間分散の効果が期待できます。

投資信託はいつがベストな投資タイミングなのか、結局のところ後になってみないとわかりません。“時間”つまり投資タイミングを分散する購入方法として一定の時期に一定の金額を継続して投資する積立投資信託があります。積立投資信託は基準価額が低い時には口数を多く、基準価額が高い時には口数を少なく購入することとなり、結果として一定の口数を一定期間ごとに投資する定量投資よりも平均購入単価を抑えることができます。

積立信託の投資方法

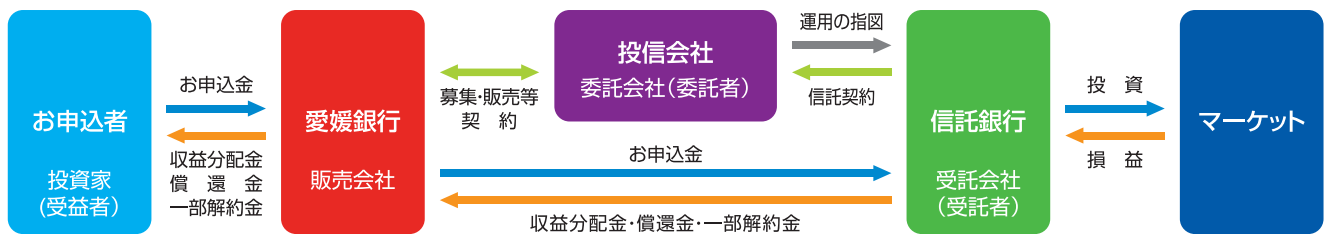
投資信託には様々なリスクがあります。そのリスクを抑える方法として一般的に次の3つが挙げられます。



積立投資信託は「時間分散」の投資方法になります。

◆積立投資信託の仕組み◆

愛媛銀行は積立投資信託の窓口（販売会社）として、お客様へ商品説明や市場情報の提供、資金の受渡しなどを行います。毎月無理なく、少額から投資信託を購入できます。



◎積立投資信託のイメージ

※下記の数字は仮定のものであり、将来の成果をお約束するものではありません。下記イメージでは手数料等については考慮しておりません。

基準価格(1万口あたり)



長期運用が効果的じゃ!

購入のタイミングってむずかしいなあ...

		1ヵ月目	2ヵ月目	3ヵ月目	4ヵ月目	合計	平均購入単価
一定金額購入	購入口数	10,000口	12,500口	8,333口	10,000口	40,833口	9,796円 (1万口あたり)
	投資金額	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	40,000円	
一定口数購入	購入口数	10,000口	10,000口	10,000口	10,000口	40,000口	10,000円 (1万口あたり)
	投資金額	10,000円	8,000円	12,000円	10,000円	40,000円	

投資信託の主なリスク

①価格変動リスク

価格変動リスクとは、例えば株式投信で投資している企業の株価が下落するリスクをいいます。

②金利変動リスク

通常、金利が上昇すれば債券価格は下落します。この金利の上昇により債券価格が下落するリスクを金利変動リスクといいます。

③為替リスク

為替相場が円高(例えば1ドル=120円が、1ドル=100円となること)になれば、海外の株式・債券等を組み入れている投資信託は、株式・債券等の価格が変わらなくても、円高により投資信託の基準価額は下落します。こういった為替変動によるリスクを為替リスクといいます。

④信用リスク

株式・債券等の発行会社が財政難・経営不振その他の理由により、利息や償還金等の支払不能・倒産に陥り、投資した資金が回収できなくなるリスクをいいます。

⑤流動性リスク

流動性リスクとは、有価証券等を売却(購入)しようとする際に需要(供給)がないため、希望する時期に希望する価格で売却(購入)することができなくなるリスクをいいます。

⑥リート(不動産投資信託)に関するリスク

リーートの価格や配当は、不動産市況や景気動向、金融情勢等の影響を受け変動します。ファンドが組み入れているリート価格が下落した場合や収益性が悪化した場合、ファンドの基準価額が下落したり、ファンドの収益性が悪化する要因となります。

●保有不動産等の価格変動リスク

リートが保有する不動産等の価格は、不動産市況や景気動向、金融情勢等の影響を受け変動します。また、不動産等にかかる法制度(税制、建築規制、会計制度等)の変更によって、価格が上下したり、自然災害等の予測困難な事態により個々の不動産等の毀損・滅失が生じる可能性もあります。

●金利変動に関する留意点

金利上昇面においては、リートは、他の金利商品との比較で売却され価格が低下することがあります。また、リートが資金の借入れを行っている場合、金利負担の増大により収益性が悪化することが考えられます。

●保有不動産等の収益性悪化リスク

リートは、その収益の大部分を不動産からの賃貸収入が占めています。景気動向や不動産市況等の影響による賃貸料の低下、保有不動産の稼働率の低下あるいはテナントの債務不履行等によって賃貸収入が減少し、収益性が悪化するリスクがあります。また、法制・税制の変更やその他の不動産関連市場を取り巻く要因の変化によるコストの増大によっても、収益性が悪化する場合があります。

●リーートの運営に関するリスク

法人形態のリートは一般の法人と同様に運営如何によっては倒産するリスクがあり、当該リスクが顕在化した場合には、その価格が著しく下落する可能性があります。

※上記のリスクが、必ずしもすべてのリスクを網羅しているわけではないことにご留意ください。詳しくは、「投資信託説明書(目論見書)」をご覧ください。

ご留意点

- 投資信託は預金ではなく、元本の保証はありません。投資信託の基準価額は、組入れ有価証券等の値動きにより変動するため、お受取金額が投資元本を割り込むリスクがあります。外貨建て資産に投資するものは、この他に通貨の価格変動により基準価額が変動するため、お受取金額が投資元本を割り込むリスクがあります。これらのリスクは、お客様ご自身が負担することとなります。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、当行が取り扱う投資信託は投資者保護基金の支払いの対象ではありません。
- 投資信託はクーリングオフの対象にはなりません。
- 当行は、投資信託の販売会社です。投資信託の設定・運用は、運用会社が行います。
- 投資信託をご購入される場合は、お客様が負担される手数料等(※)が必要です。

※お客様が負担される手数料等

ファンドのご購入時や運用期間中等には、以下の費用がかかります。

■直接ご負担いただく費用

①申込手数料(販売手数料)

お買付価額に対し、3.85%(税込)を上限としてご負担いただけます。

②信託財産留保額

売却時の基準価格に対し、0.5%を上限としてご負担いただけます。

■保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- ①信託報酬 純資産総額に対し、2.585%(税込)を上限にご負担いただけます。
- ②その他費用 監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただけます。

※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

ご注意点

- 積立投信のお買付代金(手数料等を含む)は、総合取引申込書で指定された預金口座から口座振替によりお支払いいただけます。
- お買付に係る販売手数料・消費税は振替金額の中から差し引くものといたします。
- 口座振替日(引落日)は毎月5日・15日・25日の中からご指定ください。ただし、ご指定日が銀行休業日の場合は、翌営業日の引落となります。
- 口座引落が出来ない場合は、再引落はいたしません。また、複数ファンドをご契約の場合、残高不足時は全銘柄の買付はいたしません。
- 増額月は、年2回までご指定できます。増額月をご指定された場合、その月の振替金額は、通常月の振替金額に増額金額を加算した金額となります。
- 振替金額は、通常月・増額月ともに5千円以上1千円単位となります。
- お申込みにあたっては、口座振替開始日の4営業日前(引落当日を含む)までにお申込みください。
- カードローンおよび総合口座貸越を利用した自動買付(口座引落)はいたしません。
- 積立投信は【分配金再投資コース】しかできません。

積立投資信託対象銘柄については、お近くの愛媛銀行窓口またはフリーダイヤルへお問合せください。詳しくは、「投資信託説明書(目論見書)」をご覧ください。投資信託をご購入の際は、必ず「契約締結前交付書面」「投資信託説明書(目論見書)」をご覧ください、ご自身でご判断ください。

詳しくは、お近くの **ひめぎん** 窓口
またはフリーダイヤルへ。

0120-22-0576

月～金(祝日除く)9:00～17:00

ホームページ <https://www.himegin.co.jp/>

店頭にて説明書をご用意しています。(令和元年10月1日現在)

愛媛銀行

愛媛銀行

検索

商号等 株式会社 愛媛銀行
登録金融機関

四国財務局長(登金)第6号

加入協会 日本証券業協会